

## 臨床研究「代謝産物センサー分子の疾患指標としての評価」について

筑波大学附属病院 内分泌代謝・糖尿病内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

私たちの研究で特定の代謝産物センサー分子が血液中に検出され、その濃度が様々な条件で上下することがわかってきました。

### ② 研究対象者

2020年1月1日から2030年3月31日までに当院で乳癌、卵巣癌、大腸癌、肺癌、膵癌、慢性閉塞性肺疾患などの病名で治療を受けた患者さん

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2031年3月31日まで

### ④ 研究の方法

つくば臨床教育・研究センターならびにつくばヒト組織バイオバンクセンターが保管・所有する乳癌、卵巣癌、大腸癌、肺癌、膵癌などの癌患者さんや慢性閉塞性肺疾患の患者さん（いずれも研究利用の同意取得済みのもの）の血清中の代謝産物センサー分子濃度を測定し、臨床情報と比べることでこうした疾患の発症や治療効果の指標となるか検討する。人間ドック利用の健常者の血清も正常コントロールとして利用する。

### ⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

例：血清、検査データ、診療記録等

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

なし

### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科 准教授 関谷 元博

### ⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

〈 問合せ連絡先 〉

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所 属：内分泌代謝・糖尿病内科

担当者名：関谷 元博 msekuya@md.tsukuba.ac.jp

電話番号：029-853-3053

対応時間：平日9時～17時 ※診療などによって即座に対応できない場合があります。